

「人文知」コレギウム実施状況一覧(2017～2019年度)

	コレギウムのテーマ	発表者	開催日
第1回	富山、「病い」の未来を切り拓く ・富山県における高次脳機能障害支援の展開と社会学 ・ダーク・ツーリズムの視角からみた観光地富山の可能性	伊藤智樹(社会学・准教授) 鈴木晃志郎(人文地理学・准教授)	2017.06.28
第2回	映像とことば、「客観性」という幻想 ・アメリカ映画に見る黒人ステレオタイプ ・学習辞典における重要語とは？	赤尾千波(アメリカ文学・教授) 黒田 廉(ドイツ語学・教授)	2017.08.23
第3回	時の彼方から蘇るモノ、そして人 ・出土仮名文字資料の研究 ・東洋史事始—内藤湖南と桑原隲蔵—	鈴木景二(日本史・教授) 徳永洋介(東洋史・教授)	2017.09.27
第4回	人と社会の病理—近代ヨーロッパの思想と文学の知見から— ・西欧近代思想のなかの精神病理—カントの理性批判をめぐって— ・犯罪を人文学する—フランス言語文化からのアプローチ—	澤田哲生(人間学・准教授) 梅澤礼(ヨーロッパ言語文化・准教授)	2017.11.22
第5回	富山、地域性を彩る祭りとは ・富山の祭りの魅力を考える:福野夜高祭を事例にして ・敬語:そのバリエーションと富山県方言	藤本武(文化人類学・教授) 中井精一(日本語学・教授)	2018.01.31
第6回	漢字、その深遠なる世界へのいざない ・甲骨文も言語である ・漢文訓読研究のコペルニクスの転回	森賀一恵(中国語学・教授) 小助川貞次(日本語学・教授)	2018.03.20
第7回	文学研究の最前線 ・『古事記』と「八雲」 ・芥川龍之介、自殺前の苦悩とは	中島淑恵(フランス文学・教授) 小谷瑛輔(日本文学・准教授)	2018.04.18
第8回	迷宮のなかに秩序と規範を求めて ・「連続体の迷宮」とは何か—ライブニッツとパースが挑んだ哲学最大の難問— ・ルールとは何か—行為規範の規範性を、論理的強制力として描き出す—	池田真治(哲学・人間学・准教授) 佐藤裕(社会学・教授)	2018.06.20
第9回	フランスと日本—それぞれの過去から学ぶこと— ・フランス右翼ナショナリズムの論理構造—Ch・モラスが設定したふたつの「敵」— ・宇治十帖前半とアンドレ・ジッド『狭き門』	南祐三(西洋史・准教授) 田村俊介(日本文学・教授)	2018.09.05
第10回	中澤敦夫教授ドミトリー・リハチョフ賞受賞記講演 ・文献と図像から読み解く、ロシア人の伝統的『あの世』観	中澤敦夫(ロシア文学・教授)	2018.10.24
第11回	人と人、人と社会 ・韓国のLGBTコミュニティをとりまく現状—プライド・イベントの現場から見えてくるもの— ・アメリカにおける福祉政策と市民の境界線—生殖をめぐるポリティクス—	林夏生(国際関係論・准教授) 小野直子(アメリカ文化論・教授)	2018.12.05
第12回	地域で育む、地域を育む ・子どもの生活空間とまちづくり—楽しく失敗できるまちに向けて— ・「〇〇語らしさ」の音声学	大西宏治(人文地理学・教授) 安藤智子(音声学・音韻論・准教授)	2019.01.30

	コレギウムのテーマ	発表者	開催日
第13回	・マルチモーダル・ミュージッキングー米国黒人教会における音楽する身体ー ・「人間の安全保障」から見たヒトの移動ー中米の場合ー	野澤豊一(文化人類学・准教授) 竹村卓(国際関係論・教授)	2019.07.31
第14回	・スウェーデン兵の従軍記録にみる大北方戦争(1700~21年) ・人工知能の社会学	入江幸二(西洋史・准教授) 佐藤裕(社会学・教授)	2019.09.25
第15回	・聖者と政治ー中央アジア東部の近世史ー ・ウィリアム・シェイクスピアへのジェイムズ・ジョイスの敵対ー『ハムレット』の改作を中心にー	澤田稔(東洋史・教授) 結城史郎(イギリス文学・准教授)	2019.10.23
第16回	・名詞句階層から見る英語とコリヤーク語ー異質性の陰に潜む普遍性ー ・基底核を発動する連体修飾の構造	呉人恵(言語学・教授)、藤川勝也(英語学・准教授) 樋野幸男(日本語学・教授)	2019.11.20
第17回	・心理療法における即時的改善ートークセラピーの限界を超えてー ・時間の実在性と心の活動についてーアリストテレス時間論からの考察ー	喜田裕子(心理学・教授) 永井龍男(哲学・教授)	2020.01.29
第18回	梅澤礼准教授 渋沢・クローデル賞 受賞記念講演会	梅澤礼(フランス文学・准教授)	2020.02.07
第19回	特別シンポジウム「感染症と人文学」 ・1709-13年のペストとスウェーデン ・近代フランス社会と感染症: ウィズ・コレラからアフター・コレラへ ・20世紀初頭アメリカにおける感染症と公衆衛生: 『腸チフスのメアリー』の記憶 ・ラファティオ・ハーンと感染症②: 『コレラの時代に』考 ・パンデミックと現代文学: 20世紀ディストピア小説をふりかえる	入江幸二(西洋史・准教授) 梅澤礼(フランス文学・准教授) 小野直子(西洋史・教授) 中島淑恵(フランス文学・教授) 武田昭文(ロシア文学・教授)	2020.11.07 (オンライン開催)
第20回	日本語の世界 ・南米日系人の日本語と日本文化ー世代間継承に注目してー ・ミンナ解ケテル準体方程式から、ある種の主節動詞に起因する準体構造の形式化	中井精一(日本語学・教授) 樋野幸男(日本語学・教授)	2020.11.18(オンライン開催)
第21回	コロナ特別企画① ・COVID-19をめぐるボランティアな地理情報(VGI)の最前線	鈴木晃志郎(人文地理学・准教授)	2020.12.16(オンライン開催)
第22回	コロナ特別企画② ・感染症とセクシュアリティの二重スティグマ化ーCOVID-19下の韓国LGBTQコミュニティに起きたことー ・新型コロナウイルスがもたらす心理	林夏生(国際関係論・准教授) 黒川光流(心理学・准教授)	2021.02.03(オンライン開催)
第23回	国家建設を考える ・未承認国家とディアスポラーロンドンの『ソマリランド・ディアスポラ』の動向ー	須永修枝(国際関係論・特命助教)	2021.03.10(オンライン開催)

(発表者の専門分野および職名は当時のものです。)